学校番号	３２０

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新　日本史Ａ　改訂版（実教出版）						
副教材等	詳説　日本史図録　第７版　（山川出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史的な見方や考え方を深化させ、歴史的思考力を培うことを目指している。
そのために生徒の発想や見方、疑問をもとに生徒自らが主題を設定し、これまでに習得した知識、技能を用いながら、歴史的観点から諸資料を活用して主体的に考察する活動を授業に取り入れる。この活動を通じて歴史的思考力を培い、言語活動の充実を図ることを期待している。

2　学習の到達目標

・日本前近代の歴史をふまえ、近現代史を事実に基づき把握し歴史の構造とその変化を理解する。
・歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。
・日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多角的・多面的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業プリント 授業態度 発問	定期考査 授業プリント 班発表 発問	定期考査 授業プリント 発問	定期考査 小テスト 発問

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
このシラバスは，あくまで予定を示したもので，状況により時間配分や課題・発表などを変更することがある。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	近代国家の誕生・近代社会の形成	・周辺国とどのような関係をつくり、国境をどのように確定したか学習する。 ・江戸時代からの政治の基本的な仕組みが、どのように変わったか学習する。 ・自由民権運動がどう始まり、政府がどう対応したか学習する。 ・デフレ政策が人々の暮らしにどう影響を与えたか学習する。 ・大日本帝国憲法がどのように作られたのか学習する。 ・文明開化で人々の暮らしがどう変化したか学習する。 ・欧米の学問や技術がどのように取り入れられたか学習する。	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	ａ19世紀後半の周辺諸国と国内情勢への関心を高め、帝国憲法体制が成立する経緯を意欲的に追究している。 ｂ日本の近代化について多面的・多角的に考察し、国境が画定していく過程や結果を適切に表現している。 ｃ近代国家の要素である領域・国民・政府がどう形成されたか諸資料を収集し、適切に活用している。 ｄ19世紀後半の周辺諸国と国内情勢について基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ａ文明開化への関心を高め、西洋文明をどのようにして取り入れたか意欲的に追究している。 ｂ取り入れようとした文明とは何なのか、多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ｃ文明開化によって人々の生活がどう変化したか、諸資料を収集し、適切に活用している。 ｄ文明開化について基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業プリント 小テスト 発問

1学期期末考査	日清戦争と日露戦争・帝国形成期の社会	・日本がアジア諸国を蔑視するようになった背景を学習する。 ・日清戦争の経緯と結果を学習する。 ・列強による中国分割と、日本の政治の中で政党の役割が高まっていく過程を学習する。 ・日露戦争の経過と、その結果韓国を植民地にしていく過程を学習する。 ・日本の産業革命と、それにともない経済で世界と結びついていく過程を学習する。 ・学校制度の成り立ちと、文化の面で日本国民が形成される過程を学習する。 ・都市の急速な成長と、疲弊した農村で地主が支配力を強めていく過程を学習する。 ・近代社会が形成されていく過程でどのような社会問題が発生し、どう解決しようとしたか学習する。	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	ａ19 世紀末から 20 世紀初頭の国内外の情勢への関心を高め、日清・日露両戦争を経て日本が帝国化していく経緯を意欲的に追究している。 ｂ日本のアジアでの植民地拡大について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ｃこの時期の世界地図から、アジア・アフリカの分割についての情報を読み取り、この頃のアジアの状況を考察する根拠として適切に活用している。 ｄ19 世紀末から 20 世紀初頭の国内外の情勢について基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ａ19 世紀後半から 20 世紀初頭の国内の社会状況への関心を高め、産業革命や国民文化の形成について意欲的に追究している。 ｂ産業化が進むことで社会がどう変化し、どのような問題が起きたか、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ｃ「国民」としての一体感がどのように形成されたか諸資料を収集し、適切に活用している。 ｄ19 世紀後半から 20 世紀初頭の国内の社会状況について基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。（定期考査）	定期考査 授業プリント 小テスト

2学期中間考査	大正デモクラシー・ヴェルサイユ体制とロシア革命	・大正デモクラシーが広がる様子と、その背景について学習する。 ・第一次世界大戦に日本がどう関わったのか学習する。 ・第一次世界大戦で国際関係がどう変化したのか学習する。 ・日本がどのような地域を植民地にし、どう支配したか学習する。	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○	ａ20世紀初頭の国内情勢への関心を高め、大戦に日本がどう関わったかについて意欲的に追究している。 ｂデモクラシー運動の背景について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ｃ大戦の開戦の背景について，諸資料を収集し、適切に活用している。 ｄ20世紀初頭の国内情勢と大戦への関わりについて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ａ大戦後の国際情勢への関心を高め、日本がどう関わったかについて意欲的に追究している。 ｂ日本が協調外交を推進する背景について多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ｃ第一次世界大戦下の世界地図から，国際情勢 の変化についての情報を読み取り、大戦によって何が変わったか考察する根拠として適切に活用している。 ｄ大戦後の国際情勢と日本のかかわりについて 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業プリント 班発表 小テスト

2学期学期末考査	都市化と四民文化・東アジアの情勢と恐慌・日中15年戦争	・女性が新しい文化の担い手になり、欧米のモダニズムが日本だけでなくアジアに広がっていたことを学習する。 ・政治や社会の体制を改めようとする動きについて学習する。 ・関東大震災と、1920年代から30年代にかけての文化状況について学習する。 ・勢力圏や非勢力圏への移民の移動と、帝国化する日本の様子について学習する。 ・1920年代後半の政治状況と外交のあり方について学習する。 ・世界恐慌と昭和恐慌についての一連の流れと、それをとりまく社会状況について学習する。 ・満州事変の流れと、日本が国際社会から孤立していく過程を学習する。 ・1930年代の時代状況について学習する。 ・日中戦争の流れについて学習する。 ・日中戦争のためにどのように総動員体制が構築されていったか学習する。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	a 大正時代の人々の暮らしについて関心を高め、都市を中心とした市民文化について意欲的に追究している。 b この時期の市民文化が,欧米だけでなくアジアとつながっていたことを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 市民が担い手となった文化がどう形成されたかについて諸資料を収集し,適切に活用している。 d 大正時代の人々の暮らしや文化の状況について基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 a 1920年代後半の国内外の情勢への関心を高め、国政と外交の状況について意欲的に追究している。 b 国政と外交の方針にどのような違いが生じたのか多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 1920年代の世界地図から各国の動きを読み取り、欧米諸国と日本の植民地支配の状況を考察する根拠として適切に活用している。 d 1920年代後半の国政と外交の状況について基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業プリント 小テスト 発問

学年末考査	アジア太平洋戦争	・アジア太平洋戦争がどのようにして始まったのか学習する。 ・アジア太平洋戦争下の社会状況を学習する。 ・大東亜共栄圏でアジアの人々がどう暮らしていたか学習する。 ・日本の敗戦の過程について学習する。 ・戦争によって人々の暮らしがどう破壊されたのか学習する。	○ ○ ○	 ○	 ○ ○	 ○	ａアジア太平洋戦争の一連の流れについて関心を高め、国民と周辺諸国の人々に及ぼした影響について意欲的に追究している。 ｂ戦時下の社会の状況と占領下のアジア諸国について多面的・多角的に考察し、皇民化を進めていく過程や結果を適切に表現している。 ｃ戦争がもたらす現実について知るために具体的な諸資料を収集し、適切に活用している。 ｄアジア太平洋戦争の一連の流れとその影響について基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業プリント 小テスト 発問

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。